

「高知県橋梁会平成 29 年度第 1 回研修会」報告

高知県橋梁会理事

西川 準二

2017 年 4 月 21 日(金)に高知市本町にある高知会館の「飛鳥の間」で平成 29 年度第 1 回研修会が開催された。主催は土木学会四国支部・高知県橋梁会である。

13時30分からの研修会では、①巻き立て系補強工法、②新しい逆巻工法～経済性・安全性の向上と省力化を目指して～、③新しく開発した大型ブロック積擁壁「アントラーⅡ」、④技術士合格体験談、⑤高知県 I o T 推進ラボ研究会の取り組みの5テーマの講演が行われた。

新年度を迎え色々忙しい時期にもかかわらず 104 名の参加があり、大変有意義な研修会となった。

研修会の後、会場を「天平の間」に移して定例総会を開催し、その後再度会場を「飛鳥の間」に移して懇親会を開催した。

■研修会 (13:30~17:00)

研修会に先立ち右城会長より、本日講演される方々の紹介と法人会員が 47 社となった旨の報告がされた。また今年高知県橋梁会は 40 周年を迎え、8 月 28 日に京都大学大学院教授・内閣官房参与の藤井聡先生を講師として招き「40 周年記念事業」を行なう旨の報告がされた。

(13:30~13:40)



右城会長による開会の挨拶

最初の講演は、前田工織(株)の中井裕司構造物メンテナンス推進部部長から「巻き立て系補強工法」と題して講演をいただいた。前半は、接着・巻き立て工法の中から連続繊維シート巻き立て工法の適用事例の紹介、連続シートの種類や特性等の説明がなされた。連続繊維シートは特に施工時の品質確保が重要で長寿命化につながると述べられた。後半は増厚・巻き立て工法の中からポリマー

セメントモルタル巻き立て工法の補修補強事例の紹介、使用材料の種類や施工方法、マニュアル(案)等について技術紹介をいただいた。

(13:40~14:20)



中井裕司氏による講演

2 番目の講演は、フリー工業(株)の小池常太建材営業部地域担当部長から「新しい逆巻工法～経済性・安全性の向上と省力化を目指して～」と題し、法面防護工について工法概要や施工事例の紹介があった。逆巻きによる法面の安定確保の製品として鉄筋挿入工と併用させる田パネル工法の特徴や適用箇所等の説明がなされた。またグラウンドアンカー工と併用させるフィットフレーム工法や現場打ちコンクリート構造物において仮設型枠を必要とせず、埋設型枠として軽量金網を使用したデコメッシュ工法等の製品紹介が行われた。

(14:20~15:00)



小池常太氏による講演

3 番目の講演は、高知県コンクリート製品組合の川崎聡明専務理事から「新しく開発した大型ブロック積擁壁（アントラーⅡ）」と題して講演をいただいた。最初に間知ブロックは昭和 25 年に高知県から始まったと説明された。続いてアントラーブロックは組合の最初の独自製品であり、更に開発を加えたアントラーⅡを平成 28 年に製品化した旨の説明があった。アントラーブロックはⅡ型であったのがアントラーⅡでは□型となったため、抜き型枠を抜く手間が不要となり、またブロックと裏込め材との間の緩みがなくなり品質向上につながったことや、法勾配やカーブ施工にも対応が可能である等の説明がなされた。

(15:10～15:40)



川崎聡明氏による講演

4 番目の講演は、「技術士合格体験記談」と題して二人の合格者に講演をいただいた。最初に平成 28

年度建設部門-道路で合格した㈱ロイヤルコンサルタントの大西誠一取締役技術部長から体験談をしていただいた。試験は足掛け 24 年、15 回目で選択科目の片方が B 判定だったが総合で A 判定合格したとの事であった。試験のキーワード集をエクセルで作成し、長年続けていけば得意な分野の年回りがありチャンスは広がるので、諦めずにチャレンジすることが大事であると述べられた。東京の面接では、願書で書いた経験文の質問がほとんどであり、3 大義務も聞かれなかったので不合格と思いガッカリして帰ったが合格通知が届いたとの事であった。



大西誠一氏による講演

引き続き平成 27 年度建設部門-河川砂防及び海岸海洋で合格した構営技術コンサルタント㈱の野中拓係長から体験談をいただいた。7 回目のチャレンジで、大西さんと同じく選択科目の片方が B 判定だったが総合で A 判定合格したとの事であった。年間スケジュールを作成し、予定が変わる度にスケジュールを見直し、週末は家族の協力のもと家を出て環境を変えて勉強を行ったと述べられた。面接では、願書で書いた経験文から質問がされると思っていたが、経験文からの質問はほとんど無かったとの事であった。

(15:40～15:40)



野中 拓氏による講演



熱心に聴講される参加者

5番目の講演は、高知県商工労働部の揚田徹 I o T推進室チーフから「高知県 I o T推進ラボ研究会の取り組み」と題して講演をいただいた。I o Tとは自動車や家電などパソコン類以外のモノをインターネットに接続し、センサーを介してデータを集めるとともに、そのデータを解析し、生活を豊かにしたり、仕事を効率化したりする仕組みとの事である。高知県は今後人口減が進むことが予想されるため、I o Tの活用が重要で、農業では次世代型ハウス、土木ではドローンの活用や重機の自動制御等の説明がなされた。

(16:20~16:50)



活発に質問する参加者



揚田 徹氏による講演

研修会では、参加者が熱心に聴講するとともに、各講演に対して活発な質疑応答があった。

閉会の前に、今年3月に愛媛大学を退任された矢田部龍一先生が挨拶をされた。今後は企業と大学が一緒になって儲かる仕組みを作り出すことを考えていきたいと述べられた。また高知県橋梁会は、コンサルタント、建設会社、メーカー、役所等と一緒に参加できる貴重な会であり今後も参加していきたいと述べられた。



矢田部龍一氏による挨拶



西川理事による司会

最後に、吉田副会長から本日の講演者や参加者への謝辞、8月に予定している40周年記念事業の開催、講演内容の募集などの報告があり研修会を閉会した。(16:50~17:00)



吉田副会長による閉会の挨拶

研修会終了後、会場を2階の「天平の間」に移し平成29年度の通常総会が開催された。

■通常総会 (17:00~17:25)

研修会終了後、同会場で平成29年度の定通常会を開催した。正会員47社のうち37社の出席があった。

通常総会では、平成28年度の事業報告・収支決算報告・監査報告、平成29年度の事業計画・収支予算案、役員改選などの議題が満場一致で承認された。

新入会員では、平成28年度途中に入会していただいた(株)イチイコンサルタント、前田工織(株)と今年4月から入会のフリー工業(株)の3社が紹介さ

れた。



右城会長、吉田副会長、西川会計による報告



総会の状況

■懇親会 (17:30~19:30)

定例総会終了後、会場を飛鳥の間に移して懇親会を開催した。参加者は54名であった。

懇親会では右城会長の挨拶の後、新入会員のフリー工業(株)の挨拶があり、森下理事による乾杯の音頭で宴会を開始した。



右城会長による開会の挨拶



新入会員による挨拶



歓談の様子



森下理事による乾杯の音頭



吉田副会長による中締め



歓談の様子

■あしがき

研修会の参加人数は、これまでは平成 28 年 4 月の 186 名を最高に、最近では 100 名を超える研修会も多くなりました。今回も 104 名の参加をいただきました。

高知県橋梁会では、今後も多くの方々に参加していただけるよう研修内容を充実し、さらに会員会社も増えるよう有意義な研修会を開催していきたいと思ひます、会員会社の皆様のご協力を今後共よろしくお願ひいたします。